

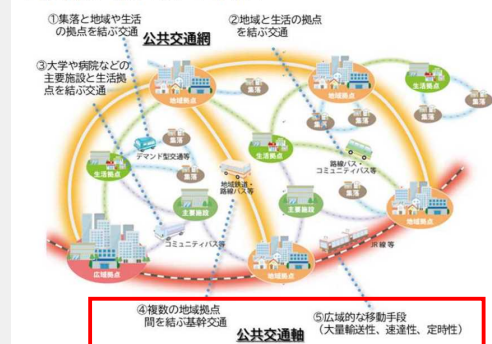
ワークショップ実施案の概要 <湖北地域>

資料2-2

▼ワークショップの到達点

- ①現状に対する理解と共有
- ②県民が想う「誰もが、行きたいときに、行きたいところに移動できる、地域交通」に不可欠な交通軸の姿の把握
- ③「持続可能な交通軸の形成」のために、各々がやれること、すべきことの意見・アイデア抽出

▼拠点連携型都市構造



▼実施イメージ

【第1回ワークショップ】

次第	タイム	目的	3時間を想定 議題等
イントロ	10分		
説明	15分		・現状分析結果・課題 Q.「誰もが、行きたいときに、行きたいところに移動できる、地域交通」に不可欠な交通軸とはどのようなものですか？ (交通軸の位置・時間帯別の運行頻度、重要度付け)
WS① グループ議論	55分	望ましい交通軸の姿の抽出	
グループ発表	15分	全体共有	
休憩	5分		
説明	10分		・交通財源状況 ・公共交通の公益性
WS② 全体議論	50分	・財源について意見交換 ・費用Simを行う案の抽出	・公共交通の財源、負担に関する質疑・応答及び意見交換 ・グループ発表を踏まえつつ、費用シミュレーション案をまとめ
アウトロ・アンケート	10分	次回WSに向けた意見把握	

【第2回ワークショップ】

次第	タイム	目的	3時間を想定 議題等
イントロ	10分		
説明	20分		・費用シミュレーション結果 ・第1回アンケートから補足説明
WS① グループ議論	60分	・費用Sim結果を踏まえた望ましい交通軸の姿を整理 ・利用促進・財源確保など実現にむけた方策の抽出	Q.「誰もが、行きたいときに、行きたいところに移動できる、地域交通」に不可欠な交通軸とはどのようなものですか？ Q.実現方策やアイデアを出し合いましょう(利用促進・財源確保/利用者・交通事業者・具別に整理)
グループ発表	15分	全体共有	
休憩	5分		
WS② 全体議論	50分	・望ましい交通軸の姿のまとめ ・実現方策・アイデアについての意見交換	・グループ発表を踏まえ、全体で議論
アウトロ・アンケート	10分	フォーラムに向けた意見把握	

ワークショップ実施案の概要 <湖北地域>

鉄道、幹線バスによる交通軸が明確であること、市内循環バスやデマンドタクシーなど交通網の構築に向けて様々な取組が実施されていること、関係自治体が2市のみであり、比較的意見が集約しやすいことなどを踏まえ、6圏域のうち【湖北地域】においてワークショップを先行して実施し、そのノウハウを他地域へ展開

▼開催日時・場所

日時 7月13日（土）～15日（月・祝）のうち1日
2～3時間程度
場所 調整中（JR長浜駅前またはJR米原駅前）

▼構成メンバーのイメージ

参加者構成イメージ		想定人数
ファシリテーター		1名
オブザーバー JR（北陸線） バス事業者 タクシー事業者		各1名
グループA	県民 ・学生 ・子育て世代 市職員	5～8名程度
グループB	県民 ・シニア世代（高齢者） 市職員	5～8名程度
グループC	県民 ・その他（企業等） 県職員	5～8名程度

▼構成メンバーの考え方

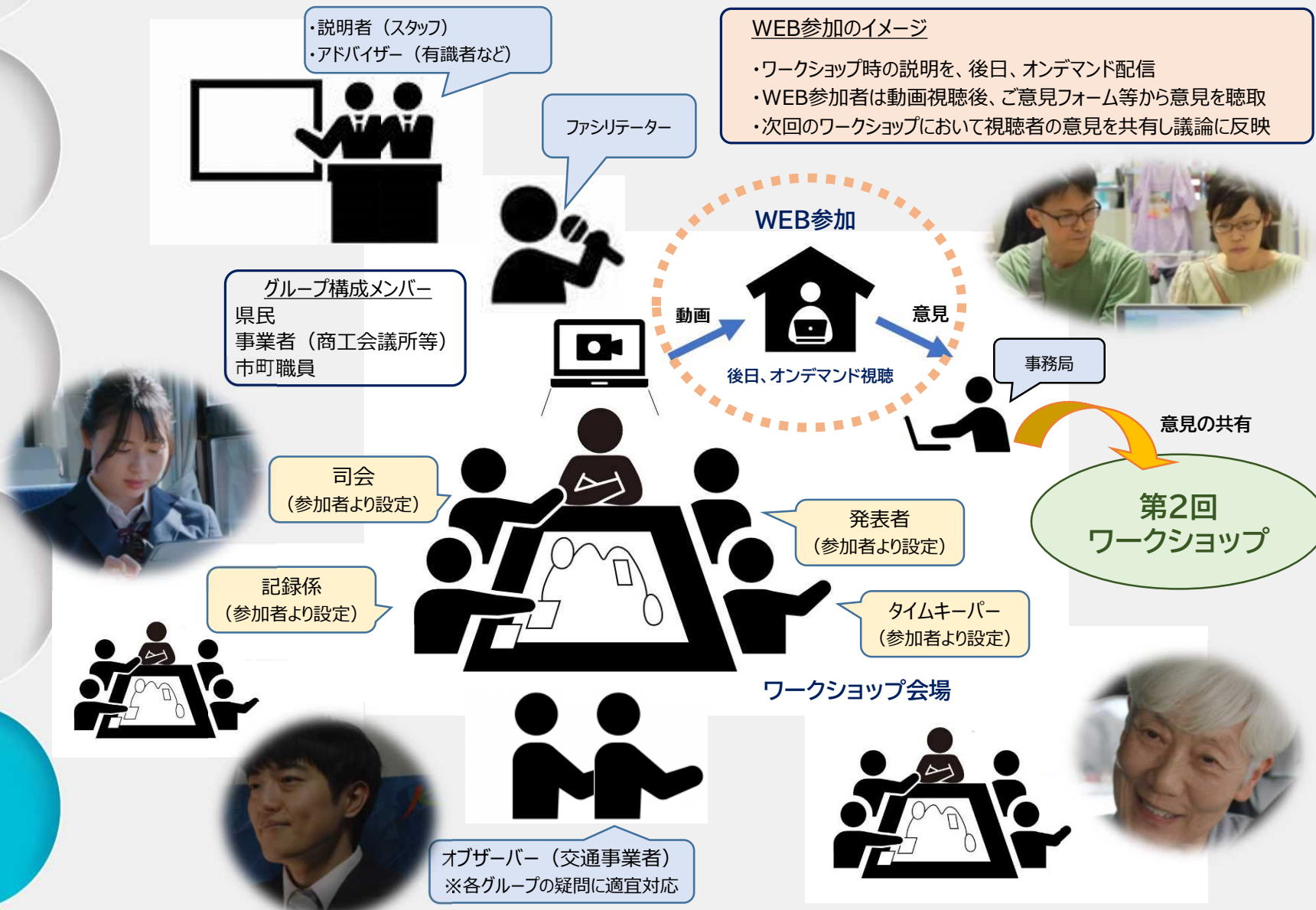
- ・ 県民を主体とし、公募を基本
- ・ 属性ごとに構成する複数グループで議論
- ・ 全体総括のためのファシリテーターを配置
- ・ 議論の積み重ねのため、メンバーは固定を基本としつつ、議論の内容に応じ必要なメンバーを追加する等、柔軟に対応

【県民】

カテゴリー	視点	想定される参加者属性
現利用者	・利便性向上に対するニーズ	・学生（通学） ・子育て世代
移動に際して課題や将来に不安を感じている者	・利用したいが利用できない方の移動ニーズ	・シニア世代 ・障がい者 ・福祉関係団体相談員等
利用意向がない者	・移動や行動実態 ・家族など身近な人の移動ニーズ	・まちづくり団体 （地域公共交通運営団体等）
事業者	・労働力確保や来訪者増加など地域活性化に係る移動ニーズ	・商工会議所 ・観光振興協会・旅行会社

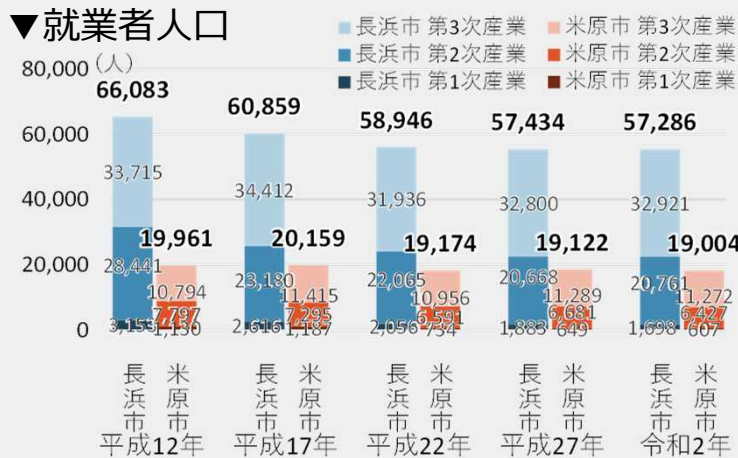
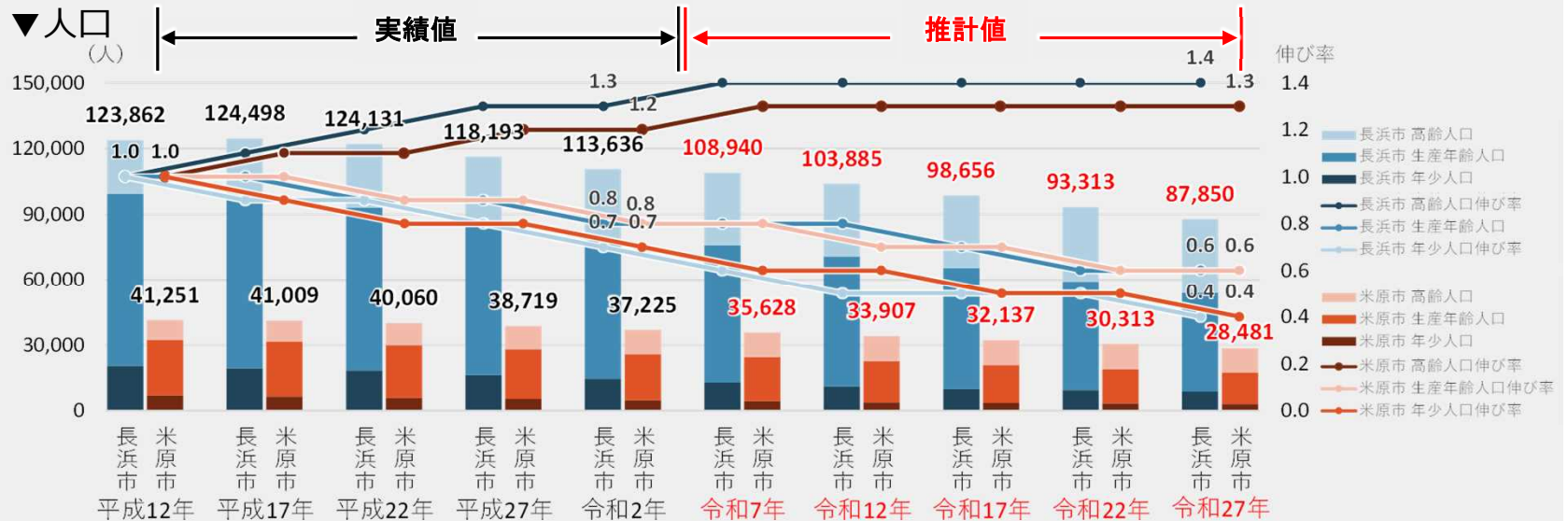
※グループピングについては、応募状況等を踏まえて調整

ワークショップ実施イメージ



湖北地域の現状 人口の状況

- 両市とも総人口は将来にわたって年々減少しているものの高齢者人口は増加・維持
- 就業者、通勤・通学者人口は近年は横ばい

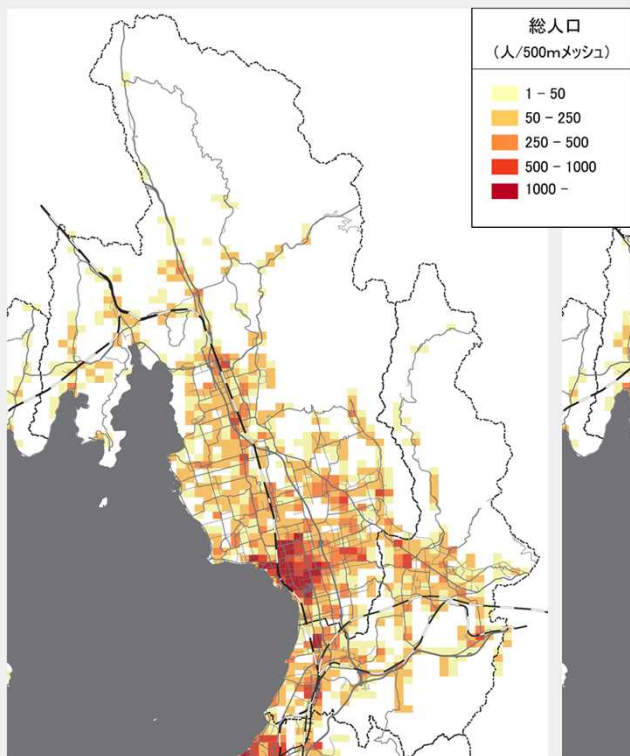


湖北地域の現状 人口の状況

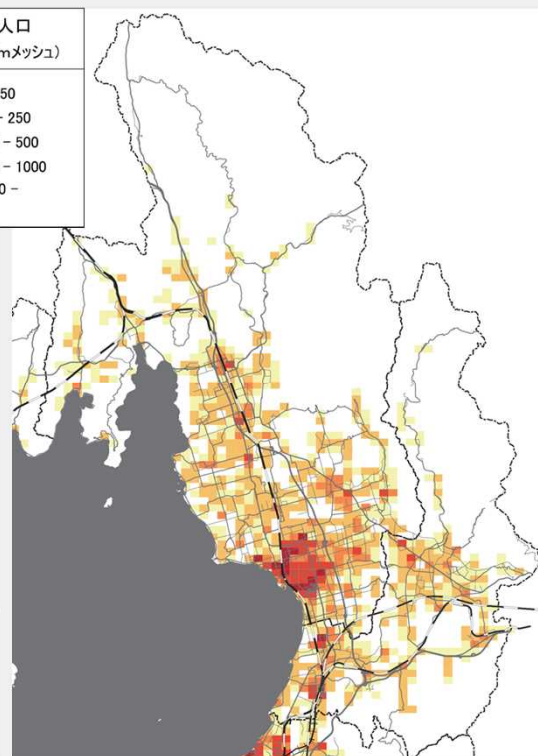
- 現状は長浜市中心部や駅を中心に人口が張り付いており、将来も同様の傾向
- 現状に比べて将来は、長浜市中心部の減少が著しく、また、現状で人口が多い駅周辺の減少も大きい一方で、郊外部で人口増加が見られるエリアが一定存在

▼人口分布

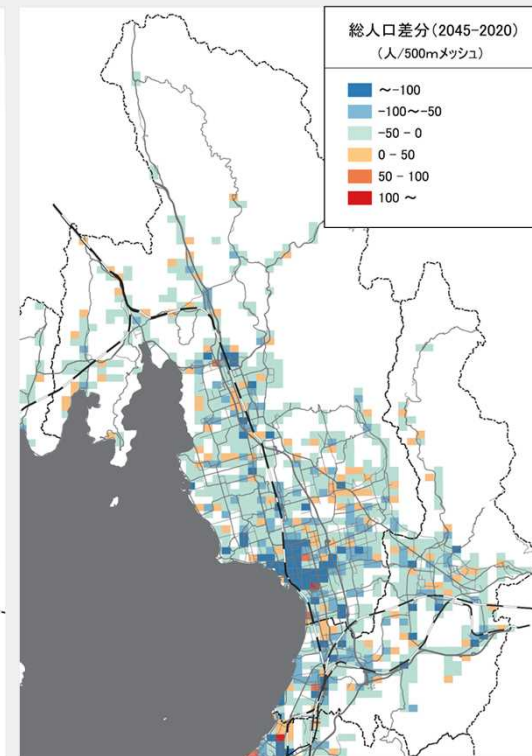
2020年総人口



2045年総人口



総人口差分 (2045-2020)



出典：国勢調査

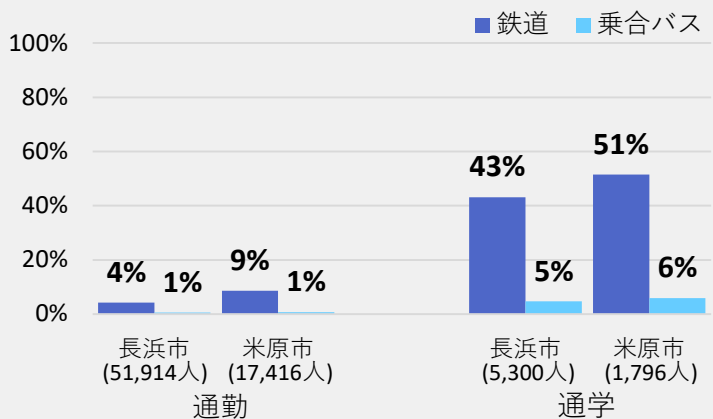
出典：国土数値情報（500mメッシュ別将来推計人口(H30国政局推計)）

湖北地域の現状 移動の状況

- 両市とも通学での鉄道利用が多く、バスでも通学で相対的に利用が多い
- 通勤・通学以外では、自由目的での鉄道利用が多いものの、バスの利用は少なく、外出頻度としては、通勤・通学が最も高く、次いで、買い物、自由目的となっている

▼通勤・通学目的での利用交通手段割合※

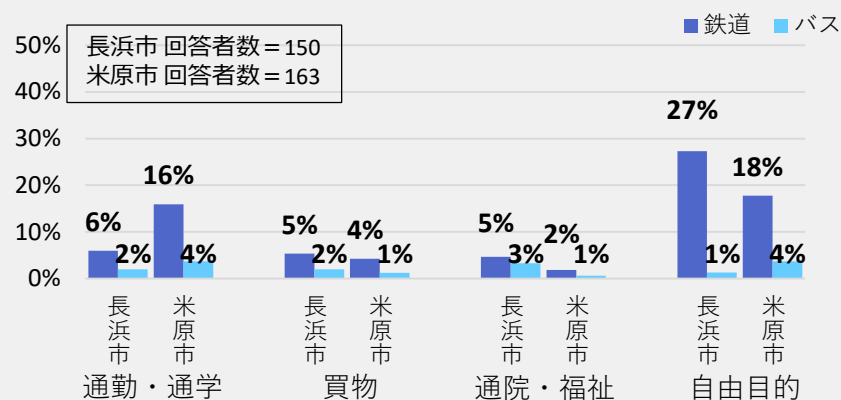
※各市町常住の通勤、通学者に対して、鉄道、バスを使う割合(複数選択可)



出典：R2国勢調査

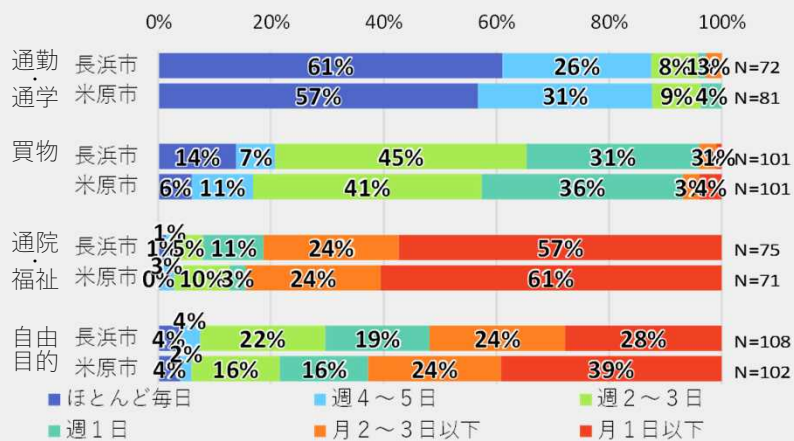
▼目的別の利用交通手段割合※

※各市町のアンケート回答者数に対して、利用目的別の鉄道、バスを使う割合(複数選択可)

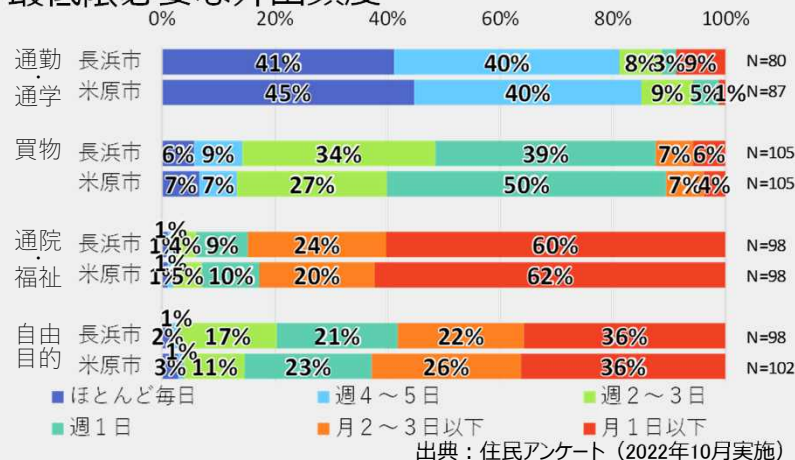


出典：住民アンケート（2022年10月実施）

▼日常的な外出頻度



▼最低限必要な外出頻度

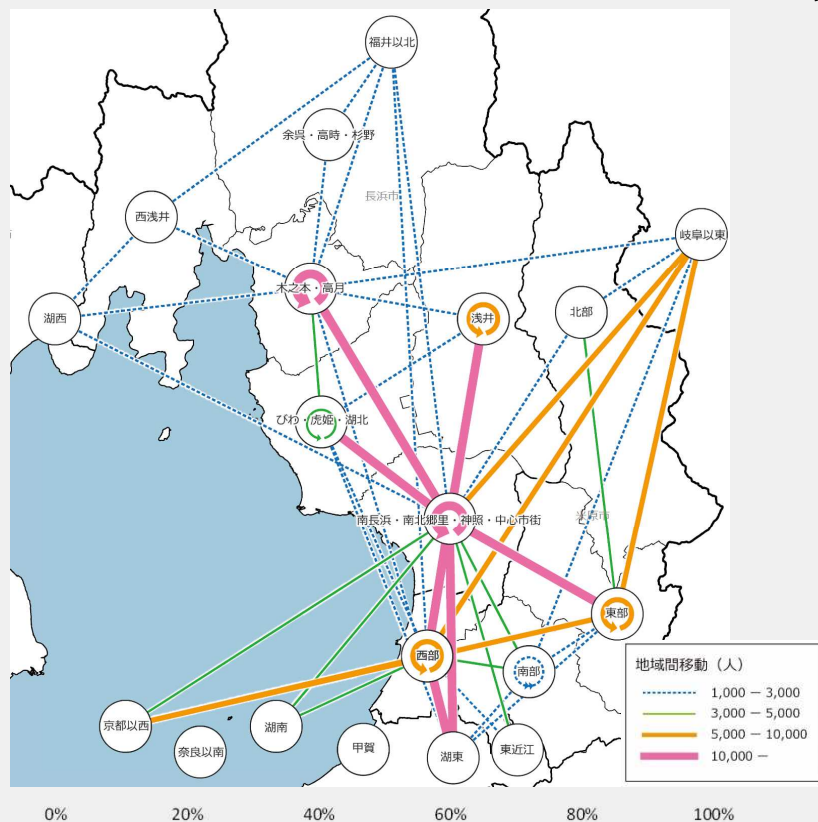


出典：住民アンケート（2022年10月実施）

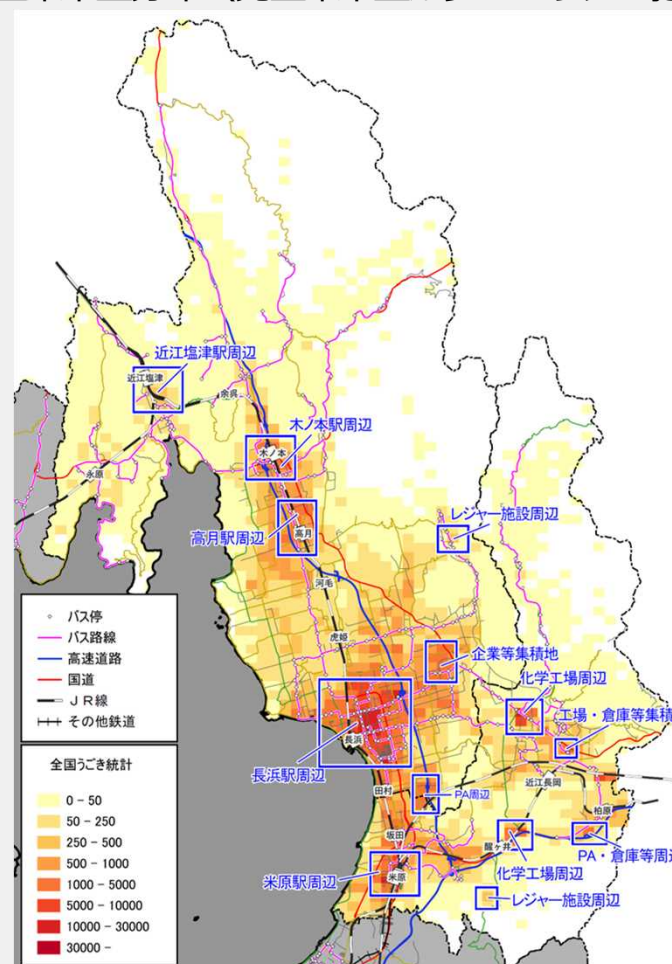
湖北地域の現状 移動の状況

- 湖北地域は長浜中心部に関する流動が多く、長浜市は内々、米原市は長浜市や県外など市外との流動が多い
- 発生集中量が多いエリアは、鉄道駅を中心に工場集積地等の郊外部にも存在

▼流動図



▼発生集中量分布 (発生集中量が多いエリアの把握)



6

	市内	市外 (県内: 長浜市又は米原市)	市外 (県内: 長浜市または米原市以外)	県外
長浜市	64%	14%	14%	8%
米原市	19%	31%	24%	26%

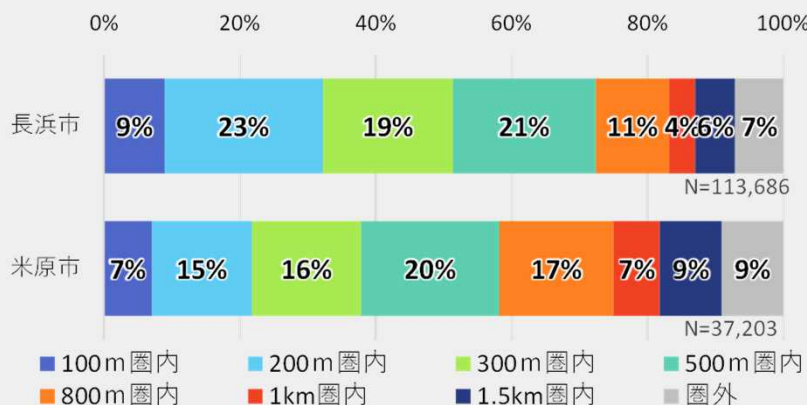
N=322,635 (長浜市) / N=143,979 (米原市)

出典：全国うごき統計 (2024年4月平日平均1日)

湖北地域の現状 公共交通の状況

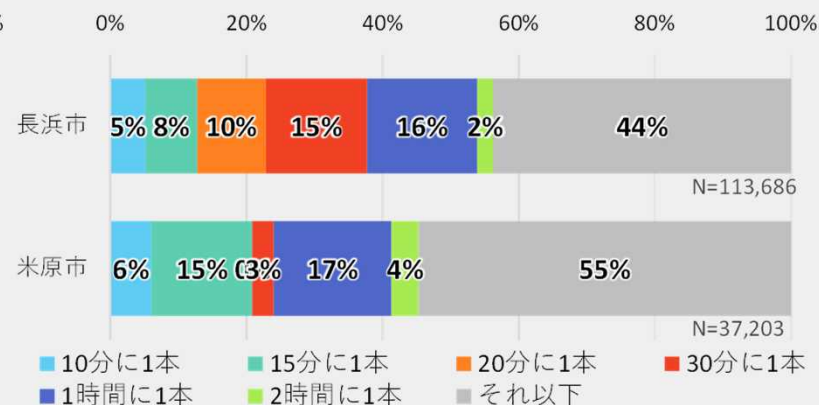
○公共交通の人口カバー率は8割以上が1km以内に位置しているものの、公共交通に求めるサービス水準として、8割以上が選択している「30分に1本以上（1時間に2本）」の人口カバー率は長浜市で4割、米原市で2割となっている

▼公共交通の人口カバー率



▼運行間隔別の公共交通圏※人口カバー率

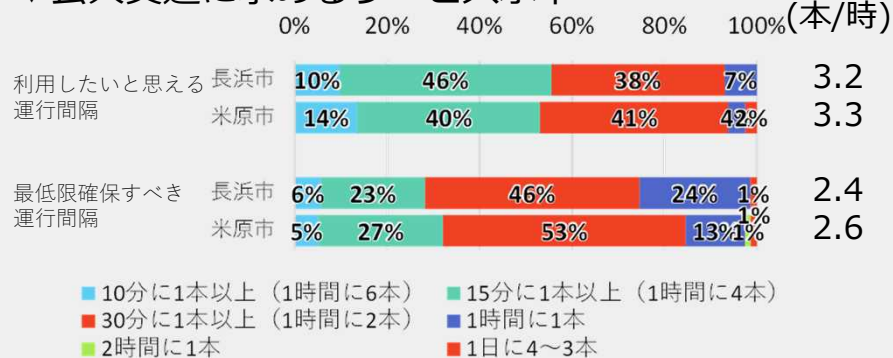
※通勤・通学時間帯（6-9時）の運行間隔



出典：国勢調査（250mメッシュ人口）

出典：国勢調査（250mメッシュ人口）

▼公共交通に求めるサービス水準



出典：住民アンケート（2022年10月実施）

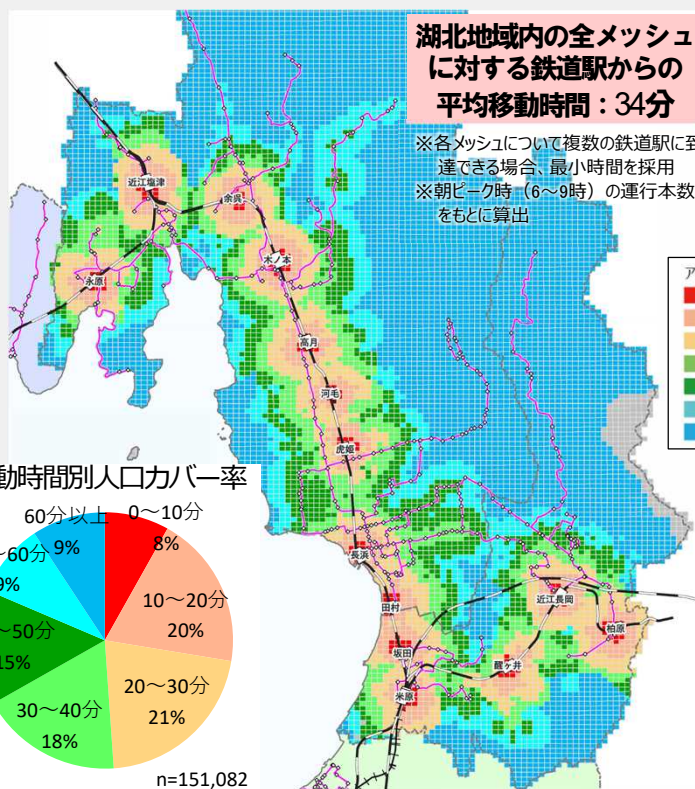
※鉄道800m圏およびバス300m圏

都市構造の評価に関するハンドブック（国土交通省都市局都市計画課）において、公共交通沿線地域として鉄道駅800m、バス停300m以内を徒歩圏と設定していることから、徒歩で公共交通が利用できる範囲として上記範囲を公共交通圏と定義

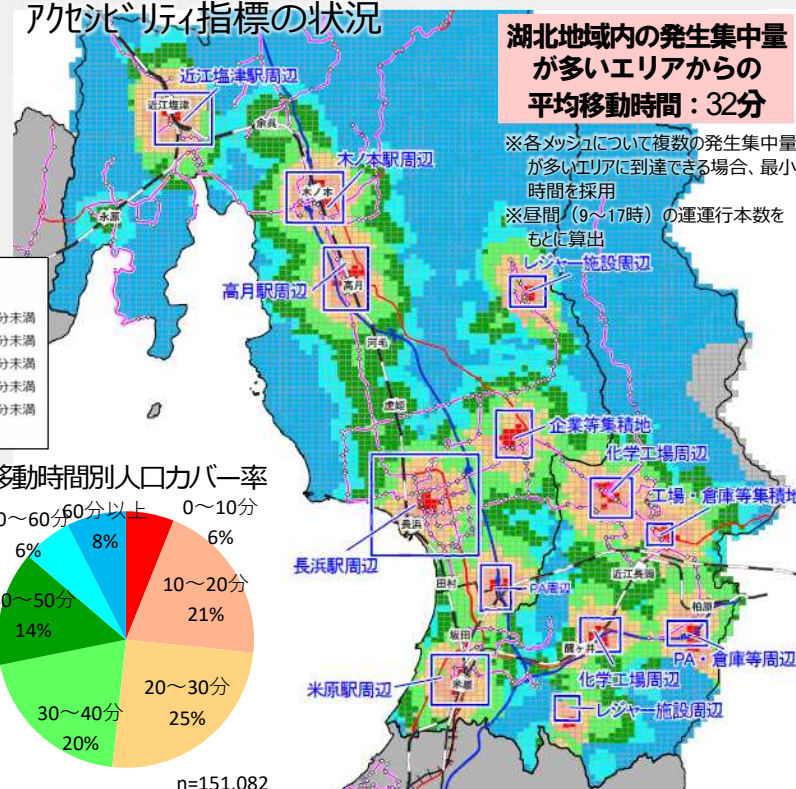
湖北地域の現状 公共交通の状況

- 湖北地域内の鉄道駅に対する平均移動時間は約34分
- 湖北地域内の発生集中量が多いエリアに対する平均移動時間は約32分

▼湖北地域内の全鉄道駅へのアクセシビリティ指標の状況



▼湖北地域内の発生集中量が多い全エリアのアクセシビリティ指標の状況



・アクセシビリティ指標とは、都市の暮らしやすさを測る指標のひとつとして、徒歩又は公共交通利用による都市生活の利便性を計量するもので、公共交通を用いた移動に要する時間および公共交通の運行頻度の多少を反映した所要時間の期待値の合計により求まる指標（アクセシビリティ指標活用の手引き（案）国土技術政策総合研究所（H26.6）参照）。

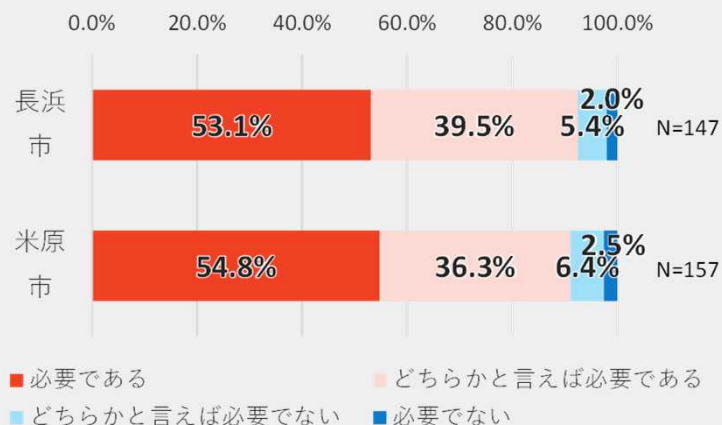
【算出方法】 徒歩の移動時間+公共交通の移動時間+公共交通の待ち時間の期待値
 ※待ち時間の期待値の算出方法 = 60分 / (1時間当たりの運行本数 / 2)
 運行本数が多い = 待ち時間が減少、運行本数が少ない = 待ち時間が増加

駅等の交通拠点、商業施設等の拠点に対するのアクセシビリティを分析

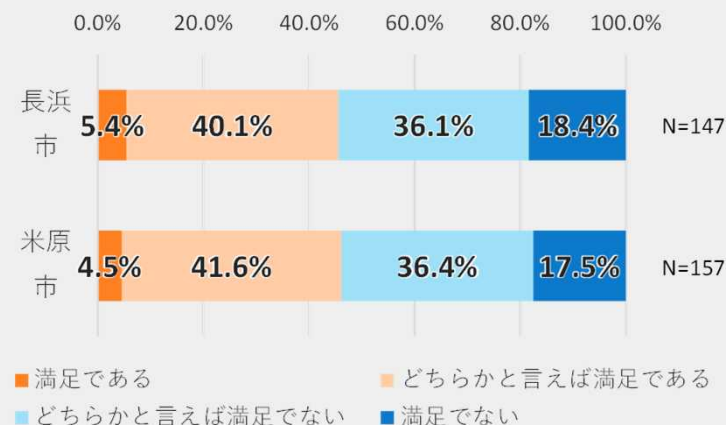
湖北地域の現状 公共交通の状況

- 公共交通の必要性について、両市とも「必要である」「どちらかと言えば必要である」と回答した人は9割以上
- 公共交通に対する満足度について、両市とも「満足である」「どちらかと言えば満足である」と回答した人は半数以下

▼公共交通の必要性



▼公共交通に対する満足度



「必要である」「どちらかと言えば必要である」を選択した理由

- ・将来、運転出来なくなったときに必要だから
- ・誰ひとりとりこぼさないまちづくりの意識を育てる事が、町全体の平和・安心安全につながるから 等

「どちらかと言えば必要でない」「必要でない」を選択した理由

- ・車社会がなくなる限り、必要性を感じないから
- ・車に乗れなくてもネットスーパーや食料品店送迎、宅配等の代替手段があるから 等

出典：住民アンケート（2022年10月実施）

地域公共交通計画が示す課題等〈湖北地域〉

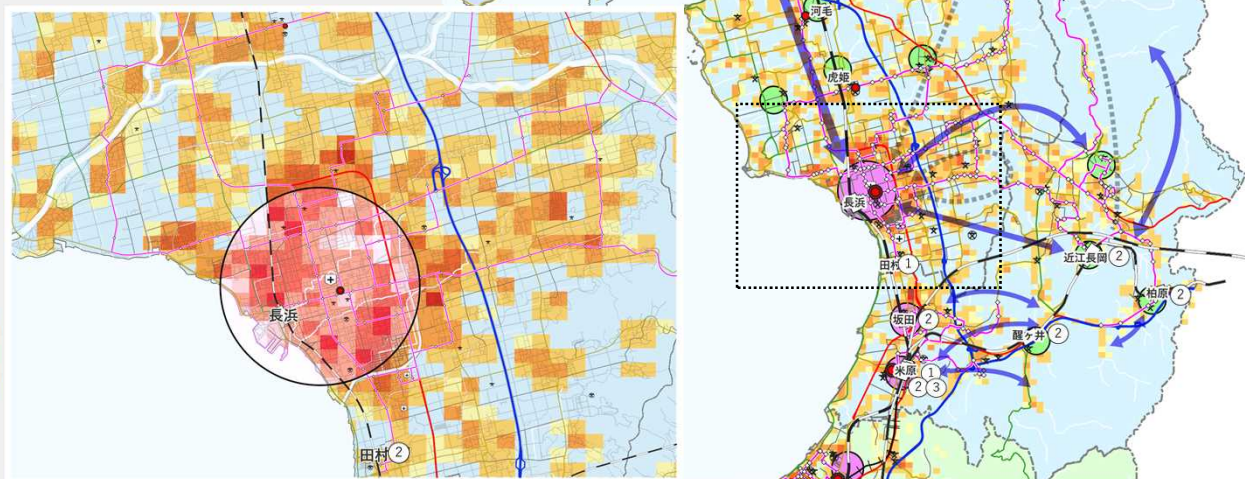
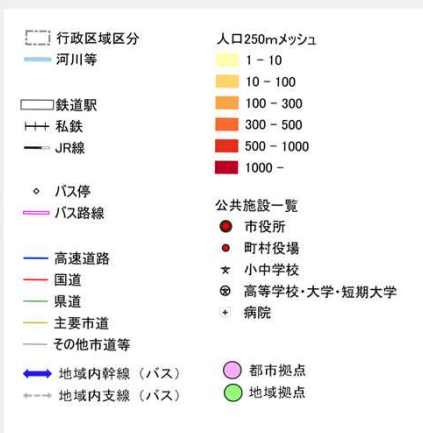
	長浜市（2024.3策定）	米原市（2024.2現在案）
まちづくり (方針)	<ul style="list-style-type: none"> ● 中心市街地核と地域生活拠点を都市軸で相互に結び付け、全体として効率的でまとまりのある都市構造をめざす (長浜市総合計画) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅と地域、地域と地域および小さな拠点などを結び、市民が安心して利用できる利便性の高い公共交通ネットワークの整備と多様な移動手段の創出 (第2次米原市総合計画)
移動	<ul style="list-style-type: none"> ● 特に北部では高齢化率の高い地域が多く、北部から中心市街地である長浜駅周辺やそれぞれの生活拠点となる地域への移動手段を確保することが必要 ● 通勤・通学時に鉄道利用がややみられるものの、約8割が自家用車での移動 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民の日常生活における長浜市・彦根市間での通勤・通学等で、鉄道や鉄道駅を起点とする路線バスが利用されており、これらを結ぶ鉄道駅は米原市の交通において重要 ● 現在の市民の移動の多くは自家用車による移動
交通弱者	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢化と高齢ドライバーによる事故の増加 ● 高齢化が加速していく中で日常的な移動手段の確保が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域公共交通は運転免許を持っていない学生・児童や高齢者、障がい者等にとって、なくてはならない移動手段
公共交通の利便性	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道やコミュニティバスの利用者数は減少しており、運行本数や運行時間帯等の利便性の向上を求める声 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域公共交通を利用しない理由として、運行時間が合わない、乗降場所まで行くのが大変などの利便性の低さが多い
観光	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光目的の利用増加など、需要割合の変化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光目的等での移動で、鉄道や鉄道駅を起点とする路線バスが利用されており、これらを結ぶ鉄道駅は米原市の交通において重要
運行上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域公共交通における運転士不足と高齢化への対応、厳しい運営状況の改善 ● 地域公共交通の維持に対する市の財政負担も大きく、市民の意見を汲み取ったうえで、費用対効果の観点から、全体最適な運行サービスの提供が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者数そのものが少ないことや、運転手不足、運行経費の増加により地域公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況

湖北地域の将来像 全体図 (公共交通系)

更新予定

人や地域を結び、暮らしに活力と安心をもたらす持続可能で利用しやすい新たな地域公共交通をめざして(長浜市)

安心な移動により住みよさが実感できる持続可能な地域公共交通(米原市)



公共交通に関する施策

まちづくり

- ・米原駅東口前周辺・田村駅周辺の整備・開発…①

パークアンドライドの推進

- ・駅周辺の駐車場・駐輪場整備(長浜市)
- ・鉄道駅でのレンタサイクル充実や各駅での乗り捨て制度導入(長浜市)…②

- ・鉄道駅周辺にある駐車場や駐輪場の利用促進(米原市)

乗り継ぎ・待合環境の改善

- ・商業施設やコンビニ、カフェ等との連携
- ・乗降が多い停留所における電子掲示板の将来的な設置を検討(長浜)
- ・乗合タクシーにおける地区間共通停留所の設置検討(長浜市)
- ・地域主導による停留所や待合所の環境整備等に対する支援を検討(米原)
- ・TETTE MAIBARAの待合場所的活用(米原)…③

湖北地域の現状 各市の施策（公共交通系）

公共交通に関する施策

公共交通の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助金を活用したバス路線の運行支援 ・運行ダイヤやルートの見直しによる運行効率化 ・広告や貨客混載等、運賃外収入確保のための検討 ・運転士の確保・育成のための支援 ・コミュニティバス・乗合タクシーの運賃見直し（長浜市）
ハイテクノロジーの導入	<ul style="list-style-type: none"> ・交通系ICカードの導入・利用促進 ・観光MaaSの導入 ・公共交通の脱酸素化にむけた電気自動車や燃料電池自動車の導入 ・ユニバーサルデザイン車両の配備（米原市） ・バスロケーションシステムの導入検討（米原市） ・AIを活用したオンデマンド交通のマッチング・配車の検討（長浜市）
住民の関心・意識醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通に関する各種情報発信 ・出前講座や体験乗車会等の実施 ・公共交通利用のきっかけとなるイベント・割引の実施 ・ノーマイカーデー（毎週金曜日）の制定・推進（長浜市） ・校外学習や部活動時の移動手段としての教育バス運行・公共交通利用に対する支援（米原市） ・学校から学童保育への移動に乗合タクシー等を活用（米原市）
住民への支援制度	<ul style="list-style-type: none"> ・運転免許返納者*に対する バス・タクシー券の配布（長浜市） ・後期高齢者、障がい者、高校生、妊婦等へのタクシー助成券配付（米原市） ・市民と市内事業所通勤者に対する乗合タクシー・コミュニティバス割引 パスポート配布（米原市） ・遠距離通学をしている児童・生徒に対するコミュニティバス定期券等の支給（米原市） ・路線バス・乗合タクシー共通通学 定期券の実験的配布（近江長岡駅・伊吹高校間） ・人工透析患者の通院費を一部助成（長浜市）
民間団体への支援・呼びかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道や路線バスを活用した観光を推進、観光施設や商業施設等による公共交通の利用促進を支援 ・観光施設・企業等の保有する輸送資源の活用を検討（米原市） ・福祉有償運送の周知・利用促進、高齢者の移動支援を行う団体に対する車両の貸し出し（米原市） ・ライドシェアを含む住民間互助による移動支援サービスの研究（米原市） ・地域が主体となる移動支援活動の調査研究・側面的支援（米原市）

湖北地域の将来像 全体図 (都市計画系)

碧く輝くまち 湖北・ながはま ～地域がいき、人が生きる～(長浜市)

ともにつながり ともに創る 住みよさ実感 米原市 (米原市)

生活拠点

- ・生活に身近な商業・福祉・生活サービス等が提供される拠点として、日々の生活利便性の向上を図り、地域特性を生かした都市形成を図る地域。拠点として未成熟な地域については、他の生活圏との連携や移動手段の確保等を図るとともに、自立した生活圏の形成を図る。(長浜市)
- ・地域の日常生活やコミュニティ・交流を支える場 (米原市)

産業・流通拠点

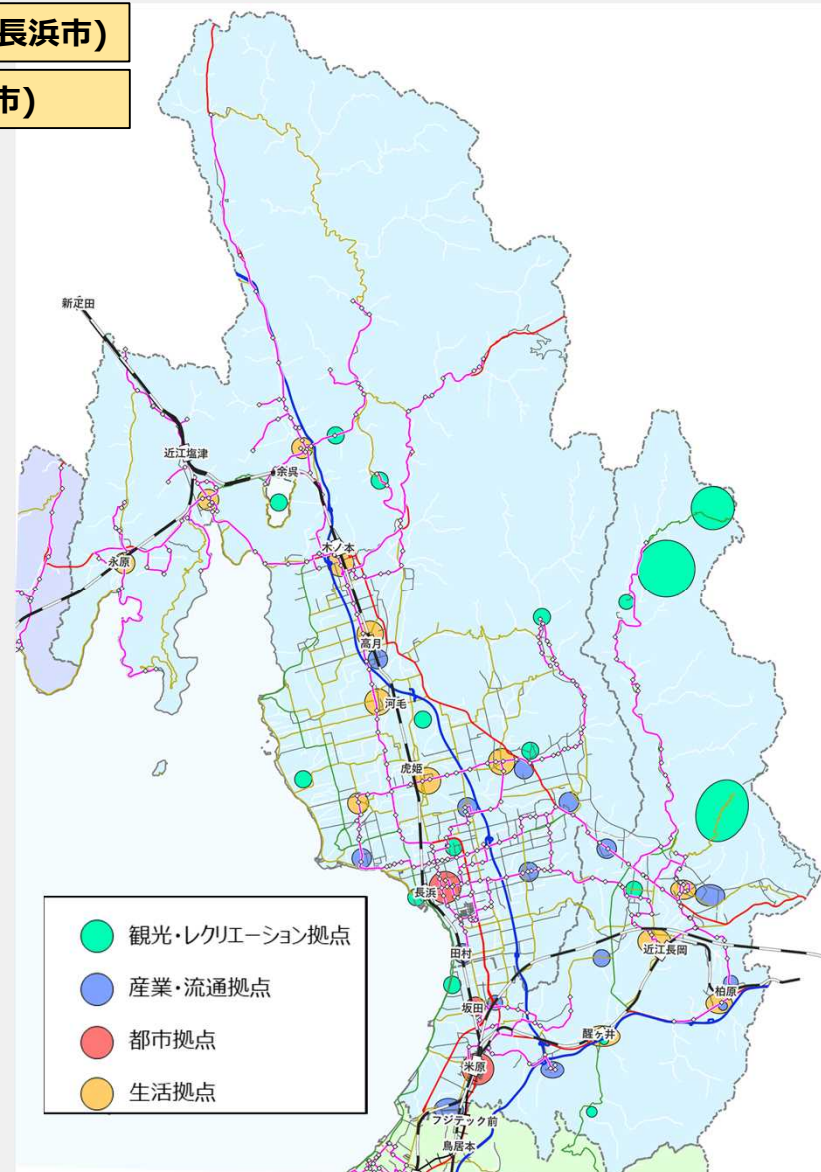
- ・産業機能の集積を促進させることで、地域の経済基盤を確かなものとするための拠点として、工業機能の集積地として既存の生産機能の高度化を図る。(長浜市)
- ・交通の利便性等を生かした産業・流通機能が集積し、市の産業振興をけん引する場 (米原市)

観光・レクリエーション拠点

- ・市民の多様なスポーツ・レクリエーション活動を支える拠点、あるいは自然休養拠点として、適切な維持管理に努めるとともに、必要に応じて整備・充実を図る。(長浜市)
- ・良好な緑・水辺の環境を生かしながら市民の休息やレクリエーション活動を支える場、或いは歴史・文化的資源を活用して、観光・交流活動の活性化を担う場 (米原市)

都市拠点

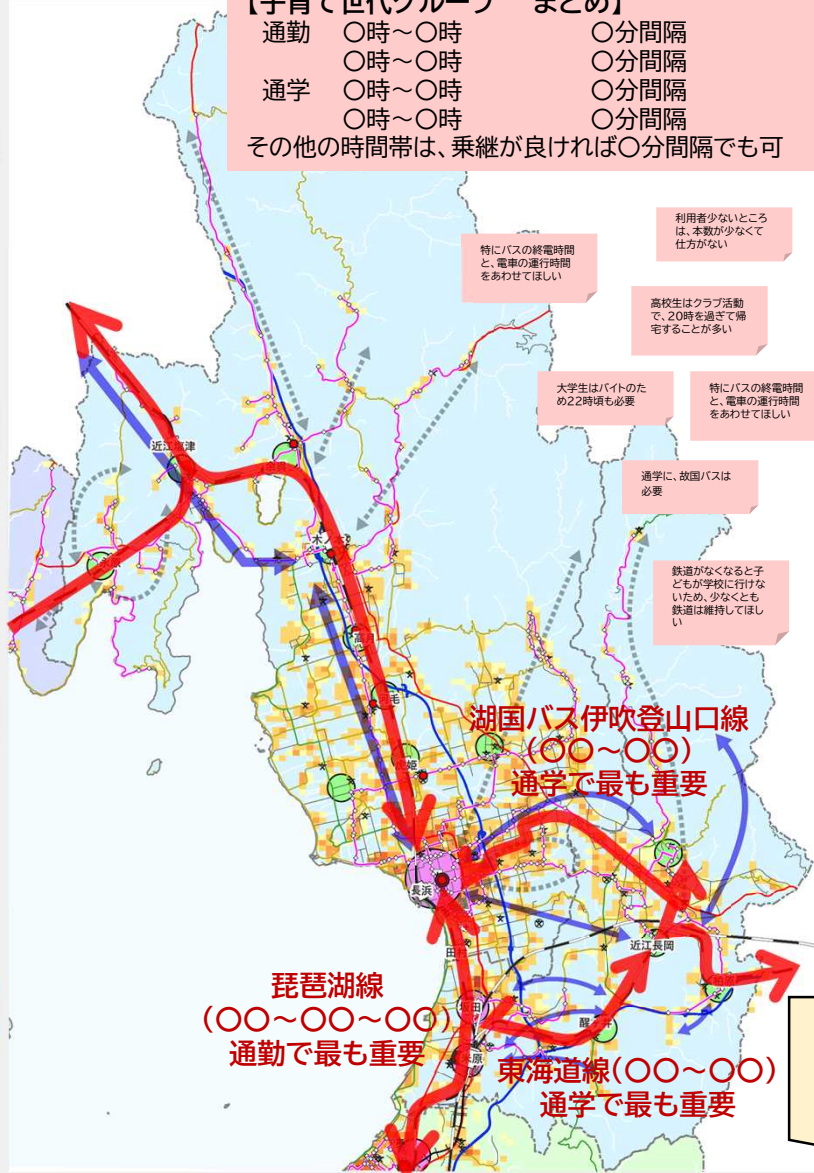
- ・人・モノ・情報を集め様々な出会いと交流を促進させ、多様な都市機能を集積させるターミナル拠点として、都市機能の集積と良好な景観形成に寄与する都市整備を進め、快適な生活を実感できる機能的で利便性の高い都市形成を図る。(長浜市)
- ・多くの人が集い交流するまちの顔づくりや、多様な都市機能が集積し活発な都市活動をけん引する場 (米原市)



第1回ワークショップ アウトプットイメージ

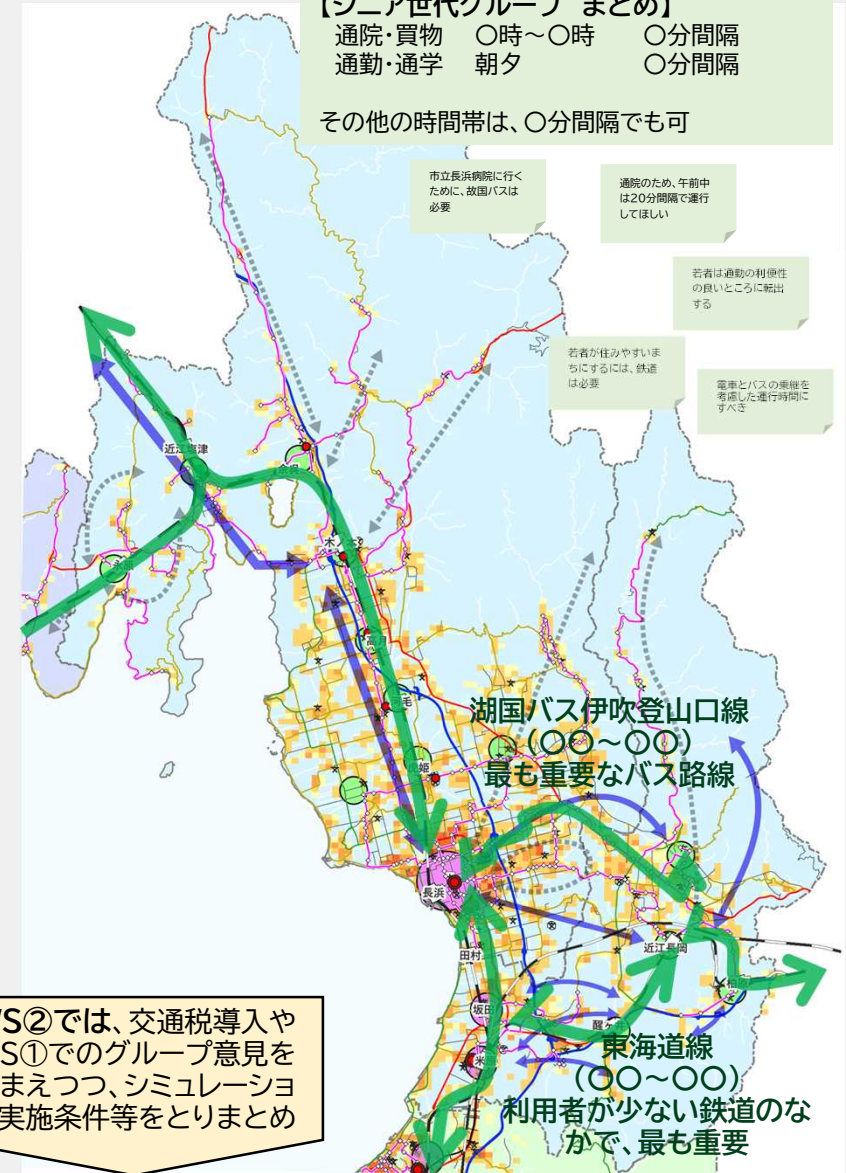
【子育て世代グループ まとめ】

- 通勤 ○時～○時 ○分間隔
 - 通学 ○時～○時 ○分間隔
 - 時～○時 ○分間隔
 - 時～○時 ○分間隔
- その他の時間帯は、乗継が良ければ○分間隔でも可



【シニア世代グループ まとめ】

- 通院・買物 ○時～○時 ○分間隔
 - 通勤・通学 朝夕 ○分間隔
- その他の時間帯は、○分間隔でも可



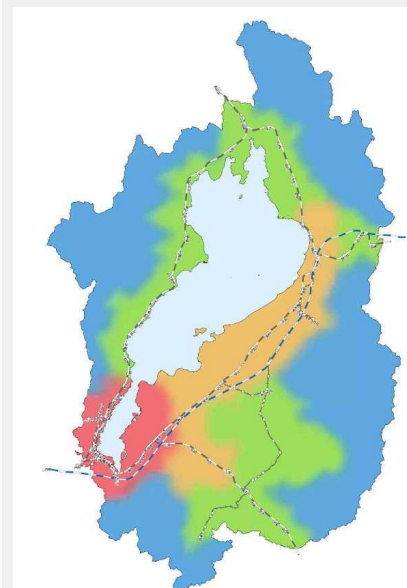
WS②では、交通税導入やWS①でのグループ意見を踏まえつつ、シミュレーション実施条件等を取りまとめ

地域公共交通の維持・向上に必要な費用をどう賄うべきか？

地域交通ビジョンにおける地域交通の目指す姿のパターンと、そのために追加で必要となる概算費用

項目	概算費用（単位：百万円/年）								合計	
	バス				鉄道					
	地域①	地域②	地域③	地域④	地域①	地域②	地域③	地域④		
パターンA 現状と同じ 地域交通	I 利用者減による運賃収入減少分の補填	-8	35	101	46	112	1,487	760	0	2,533
	合計	-8	35	101	46	112	1,487	760	0	2,533
パターンB 県民が最低限確保を望む地域交通	II 必要運行本数を確保する場合の運行経費増額分	1,057	420	481	495	-	767	2,022	-	5,242
	III 必要運行本数を確保する場合の車両購入費・人件費増額分等	611	449	461	274	-	114	385	-	4,236
		620	495	520	307					
	V 利用者減, 運行本数増加による運賃収入増減額分	-878	-286	-118	-47	112	783	383	-	-51
合計	1,410	1,078	1,344	1,029	112	1,664	2,790	0	9,427	
パターンC 県民が理想として望む地域交通	II 必要運行本数を確保する場合の運行経費増額分	1,362	637	823	760	-	1,319	3,592	-	8,493
	III 必要運行本数を確保する場合の車両購入費・人件費増額分等	846	662	692	299	-	383	1,151	-	6,736
		859	730	780	334					
	IV 他施策導入のための必要経費	893	641	796	326	-	-	-	-	2,656
	V 利用者減, 運行本数増加による運賃収入増減額分	-1,681	-734	-284	-120	112	-1870	-521	-	-5,098
	合計(施策なし：IVなし)	1,386	1,295	2,011	1,273	112	-168	4,222	0	10,131
合計(施策あり：IVあり)	2,279	1,936	2,807	1,599	112	-168	4,222	0	12,787	

▼地域分類のイメージ図



▼地域の分類方法

地域分類	自動車分担率(通勤・通学) 60%未満	人口密度 500人/km ² 以上	鉄道最寄駅距離 3km以内
①	○	○	○
②	×	○	○
③	×	×	○
④	×	×	×

※ 路線バス（市町が運行するコミュニティバスを含む。）・地域鉄道の既存路線の運行本数を維持・増加させる場合に追加的に必要となる費用を試算したものであり、事業の実施主体は県に限らない。

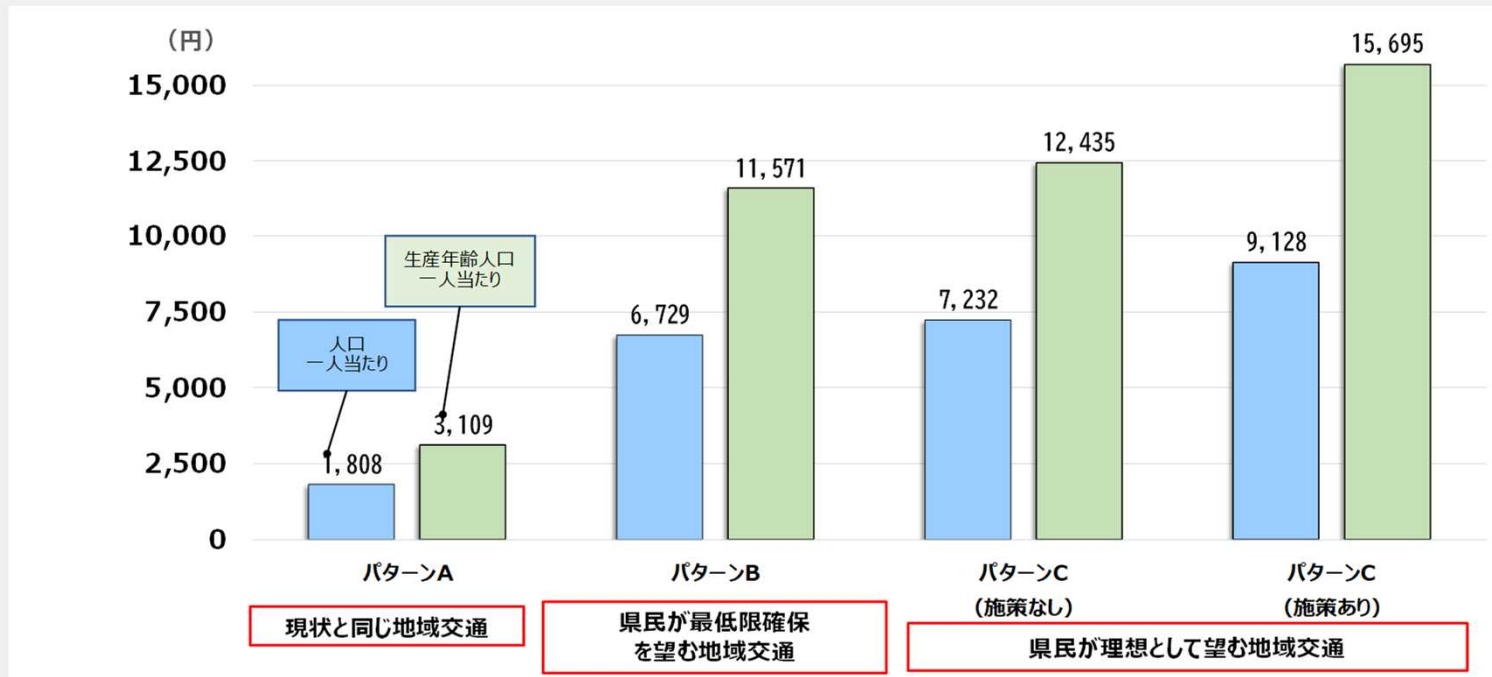
※ 「県民が最低限確保を望む地域交通」、「県民が理想として望む地域交通」の前提となる運行本数は住民アンケート（令和4年10月実施）から算出。

※ パターンCの他施策とは、運行本数の増加以外の施策（料金割引、デマンド交通の導入等）

地域公共交通の維持・向上に必要な費用をどう賄うべきか？

地域交通の目指す姿のために追加で必要となる概算費用(前ページ)について、滋賀県の人口および生産年齢人口(15~64歳人口)で除した金額は以下のとおり

パターン	A: 現状と同じ地域交通	B: 県民が最低限確保を望む地域交通	C: 県民が理想として望む地域交通	
			施策なし	施策あり
追加で必要となる経費	2,533百万円/年	9,427百万円/年	10,131百万円/年	12,787百万円/年
人口一人当たり	1,808円/年	6,729円/年	7,232円/年	9,128円/年
生産年齢人口一人当たり	3,109円/年	11,571円/年	12,435円/年	15,695円/年



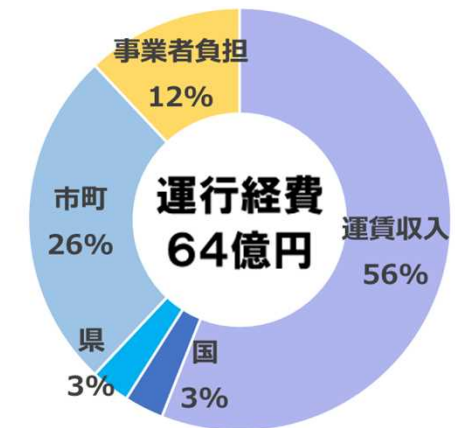
※ 人口(約140万人)および生産年齢人口(約81万人)は毎月人口推計調査令和6年4月季報(滋賀県統計課)による。

地域公共交通の維持・向上に必要な費用をどう賄うべきか？

【例】

- **経費節減、効率的運行など**
(利用状況に応じたダウンサイジングやデマンド化、路線の再編、他業種も含む事業者間の連携など)
- **利用促進**
(利便性の更なる向上、観光客の取り込みなど)
- **利用者の負担増** (運賃の値上げ)
- **既存財源の活用など**
(予算の組換え、財源確保に向けた国への提案など)
- **新たな財源の確保**(いわゆる「交通税」など)

公共交通の費用負担割合の例
(バスの場合、R2年度)



など